

出題分析		
試験時間 90分	配点 150点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
【概評】 今年度から試験時間が 60 分から 90 分に増加し、配点も 100 点から 150 点となった。これに伴い、大問は 4 題で変わらず、マーク式の小問数は 50 問から 40 問に減ったが、300 字論述が 2 問追加されて問題の総量は大きく増加した。マーク式では、空欄補充や語句選択が 5 割程度で、残りが正誤判定など他の形式であった。一方、昨年・一昨年にはあった史料問題が姿を消し、シンプルな出題形式となった。時代・地域は大きく西洋の近現代史に偏っている。マーク式は昨年並みの難易度であり、論述問題も 300 字論述としては標準的な難易度であった。しかし、300 字論述が 2 問出題されると想定していた受験生は少数であり、論述訓練の度合いにより受験生の手応えは大きく異なっただと思われる。		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	西洋近代で生じた政体変化	比較的解きやすい問題が多い。空欄は(5)(6)のティエールが差のつきやすいポイント。[設問 1] はフランクリンと解答したくなるが、彼はフランス革命前に離任しており、革命時の駐仏公使はトマス＝ジェファソンである。[設問 2] は身分制批判と国民議会設立の主導という点からシェイエスと推測したい。[設問 4] はポロディノの戦いが難しい。ロシア遠征時の戦いなのでこれが 4 番目に来る。[設問 5] は、ナポレオンがスペインをフランス帝国の直轄地とせず、兄をスペイン王に就けて傀儡としたため [02] が誤文。[設問 7] は全く知らなくても、冷静に語群からロマン主義作家の作品を探して正解したい。[設問 9] の [04] のアルジェリア独立が「アフリカの年」よりも遅かったことは頻出事項である。ただし、[02] はオスマン帝国がトリポリ・キレナイカを直接支配下においたのは 1835 年であるため、こちらを誤りと判断しうる。[設問 10] のブルゴーニュ公は難関私大の受験生なら押さえておきたい。[設問 11] のオランプ＝ド＝グージュと [設問 14] のオスマンは近年頻出の人名である。[設問 15]、1889 年の万博を記念して建設されたのはエッフェル塔。[設問 17] は、(b) のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン獲得の主語をプロイセン・オーストリア連合軍と解釈すれば 1864 年、プロイセン単独と解釈すれば 1866 年となり、これにより正解が変わってくる。このため想定解は [13] だと思われるが、[05] も正解になりうる。	標準

設問別講評			
II	国際連合の役割	慶應大・法学部に特有の難問が並んだ。空欄では、(45)(46)は語群に日本の委任統治領となったことがある地名がパラオしかないことに気付けば正解できる。慶應大・法学部ではこうしたわずかなヒントから正解をすくい取る練習を積んでおきたい。[設問4]、ソマリランドを植民地化したのはイギリスとイタリアで、ドイツはかわりがない。[設問5]は難民条約の成立は第一次中東戦争を背景としている知識があれば解きやすい。[設問6]は[01]と[03]の2択には絞りたい。[03]は約4万年前が約1.5万年前の誤りである。[設問7]は時事問題に近い。TPPは12か国で交渉が進んだが、問題文の通りアメリカが脱退して11か国で発効した(TPP11)。したがって正解は12である。[設問9]と[設問10]は歴史総合を意識した出題と思われる。[設問10]は琉球処分の最終的な解決は日清戦争、朝鮮との国境画定は日露戦争で進んだと推測して正解を導きたい。	難
III	ブレトン=ウッズ体制の成立と終焉	頻出テーマであり、知識があれば書きやすい。知識量が多い人はかえって事項の取捨選択に苦労したのではないか。通貨制度に話題を絞って、自由貿易に関連する事項は思い切って省くと解答をまとめやすかったと思われる。	標準
IV	宋の地方統治とその影響	こちらも唐宋変革という頻出テーマであるが、地方統治の観点から論述することを求められるため、少し書きにくい。問題の指定が細かいため、①唐末の背景事情(節度使の割拠)、②北宋が導入した地方統治の変化(節度使の弱体化政策)、③本体制を支えた仕組み(文治主義と皇帝権力の強化)、④それに伴う問題(財政悪化)、⑤対外関係への影響(軍事力の弱体化と盟約外交)と切り分け、順番に書いていくとよい。	標準

合格のための学習法

慶應大の法学部は、マーク式では解答が不可能に近い難問を多く出題するが、そういった問題では差がつきにくいので、やや難・標準的な問題を取りこぼさないように学習することが先決である。[語群]に並ぶ選択肢の量が多い慶應大特有の形式にも慣れておきたい。その上で一步進んだ学習をしたい人は、用語集の頻度の低い用語や説明文中の用語、教科書の注などに目を向けよう。論述問題は、今後も300字2問が続くと想定するならば配点が大きく、本格的な訓練が必要になる。始めは早稲田大・法学部の300字論述を使い、慣れてきたら京大の300字や筑波大の400字も使ってオーソドックスなテーマは一通り書けるようにしておこう。